

女満別ゴルフコースの存続を求める決議

女満別ゴルフコースは、開業までに16年の歳月を費やし、地域の悲願として平成13年8月にオープンしました。オープン以降も、地域の雇用、観光、経済、町の発展に大きく貢献する施設として、地域とともに歩んできたゴルフ場です。

このように長きにわたって地域に根差してきた女満別ゴルフコースが、存続の危機に立たされております。

地域と共に歩み、町内のみならず、近隣地域や道内外者からも愛されて営業を続けている施設の再生可能エネルギー発電事業への転換は、地域の経済や観光にとって大きな損失であり、企業利益優先で開発が強行されることはあってはなりません。

また、近年、施設管理が不適切な事業者により、各地でメガソーラーによる火災が相次いでいることから、今後、いつどこで同じ事故が起こらないとも限りません。これから10年先以降、製品寿命を迎える太陽光パネルの大量廃棄の問題もあります。

さらには、現在の徹底した芝管理からパネルを敷き詰めただけの無人管理となれば、土地の保水力が低下し水害や土砂災害のリスクが高まることが想定され、災害時には住民生活や地域産業に大きな影響を及ぼす可能性もあります。

当町は、オホーツク地方の空の玄関口である女満別空港を有し、女満別ゴルフコースは、地域経済・地域間交流を支える重要な施設です。

よって、次のとおり女満別ゴルフコースの存続を求めるとともに、事業計画の中止を強く求めます。

記

- 1 女満別ゴルフコースは、長きに渡る地域の悲願であり、雇用、観光、経済、町の発展に不可欠な存在である。大空町及びオホーツク地域の活力が失われないよう、現状の運営体制のまま存続されることを強く求めます。
- 2 地域を衰退させ、地方創生を阻害する可能性のある、土地等の取得や、開発行為に断固反対する。
- 3 地域の暮らしや自然風土を無視した、地域が望まない土地利用等に断固反対する。

以上、決議する。

令和 7 年 7 月 2 8 日

北海道大空町議会